

平成30年度 基本事業評価シート（平成29年度実績評価）

政策 03 こころ豊かに暮らせるまち
施策 01 学校教育の充実
基本事業 01 確かな学力の育成
主管課： 指導室
関係課： 指導室

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
児童生徒	児童生徒に、基礎的、基本的な知識及び技能を習得させる。

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

全国学力状況調査で全国平均正答率を上回っている教科（調査問題）の割合（小6対象）（％）指導室					
基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
向上指針	上がると良い	（状況）平成27年度以降、100%の基準値を維持できており、目標値を達成しています。 （原因）学習支援ティーチャーや少人数加配教員の配置により小学校入学時から学習・生活習慣の確立が図られ、個に応じたきめ細やかな指導ができたことが大きな要因です。さらに、守谷市保幼小中高一貫教育「学びのプラン」の「学習スキル」を授業に位置付け推進したことで、言語活動の充実が図られたことも正答率の向上につながりました。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

全国学力状況調査で全国平均正答率を上回っている教科（調査問題）の割合（中3対象）（％）指導室					
基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
向上指針	上がると良い	（状況）平成27年度以降、基準値を維持しています。昨年度も全教科で県平均を上回り、目標値を達成しています。 （原因）学習支援ティーチャーや少人数加配教員の配置等による個に応じた指導の充実、授業の改善及び放課後や長期休業中を利用した補充学習の成果が表れています。さらに、守谷市保幼小中高一貫教育「学びのプラン」の「学習スキル」を授業に位置付け推進したことで、言語活動の充実が図られたことも正答率の向上につながりました。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

学校の授業が楽しく、勉強がわかると感じている児童生徒の割合（％）指導室					
基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
66.20	71.70	70.00	70.00	70.00	70.00
向上指針	上がると良い	（状況）平成29年度は数値が伸び悩みましたが、平成28、29年度ともに基準値、目標値を達成しています。 （原因）学習支援ティーチャーや少人数加配教員等の配置により、きめ細やかな学習指導ができたことで、学習面で自信をもち、授業が楽しいと感じる児童生徒が増えてきたのだと思います。また、放課後や長期休業に各校で取り組んでいる補充学習の成果が、市内全体の学力の伸びにも表れています。保幼小中高一貫教育により児童生徒が学びのつながりや自分自身の伸びを実感していることも肯定的な回答に結びついていると考えます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	38,294	29,410	72,244	88,083	88,083
人件費	0	2,402	3,706	0	0
トータルコスト	38,294	31,812	75,950	88,083	88,083

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

学習支援ティーチャーや少人数加配教員等の配置により、きめ細やかな学習指導ができたこと、放課後や長期休業に各校で取り組んでいる補充学習の成果が、児童生徒の学習面で自信をもち、授業が楽しいと感じるという肯定的な回答に結びついています。平成29年度は、基準値、目標値を達成していますが、平成29年度の成果を若干下回っています。各種の訪問指導を通して、分かる授業づくりを推進していきます。そのためには、児童生徒一人一人の学びに対応できるように、少人数指導の充実を図ります。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題なし
	成果方向性	維持
	コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]